

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	67%	33%		1ヶ所に集まると圧迫感があるが、別スペースをうまく活用して対応しているのは良いと思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	17%	67%	16%	配置数は適切であるかもしれないが、支援員ひとりひとりの心持ちの向上が必要だと思う。 ⇒大きな課題の1つととらえています。支援力や意識を高められるよう努めたいところです。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	33%	34%	33%	・車椅子利用者がいるので、スロープなどの設置が必要。 ・車椅子利用者を抱えて移動する際など段差に神経を使うし、スペースが狭く感じることがある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	17%	50%	33%	・明確な目標設定がなされておらず、機能していないと感じる。 ・意見を求めても発言者が限られ、皆で組み立てていると感じられない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	67%		16%	無回答17% 毎回ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	16%	17%	50%	無回答17% これまでのところ、第三者評価の実績はありません。契約書でその旨を公表しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	33%	34%	33%	定期的に機会をもっていますが、学んだことを生かせる人の少なさが今後の課題だと考えています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	50%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	17%	67%	16%	発言者が限られ、結果的に特定の人が決める形になっている。 ⇒広く皆からの意見を引き出せるように努めていきたいところです。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	50%	50%		・長期休暇中を含めて、考えながら進められたと感じる。 ・担当する人によって差が大きいと思う。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83%	17%		新型コロナの影響で急な対応(休校・分散登校など)が重なり、手一杯な時がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	67%	33%	/	受け入れ前(主に昼)の打ち合わせを継続していきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	/	83%	17%	気づいたことを共有したり、意見を述べたりする人が限られているが、短時間でも行えると良い。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	67%	33%	/	個人差が大きい。後で見直して活用できるよう、必要な事柄をまとめる力を全員がつけていく必要がある。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	/	/	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	67%	33%	/	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83%	17%	/	コロナで未実施
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	/	/	新型コロナの影響で急な変更が多いが、各ご家庭からご連絡くださるので対応できている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	17%	50%	33%	*これまでのところ、受け入れ実績がありません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	33%	67%	/	*利用者・保護者からの希望があれば応じています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	33%	67%	/	*利用者・保護者からの希望があれば応じています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33%	34%	33%	*これまでのところ、実績がありません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	/	17%	83%	コロナが落ち着いたら検討したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	/	50%	50%	*これまでのところ、自立支援協議会が機能していません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	/	/	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33%	50%	17%	・保護者の認知度に差がある。 ・まずはペアレント・トレーニングについて支援員が学ぶ必要がある。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83%	17%	/	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	/	/	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	/	50%	50%	コロナ禍で開催できていない。

非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			
	35	個人情報に十分注意しているか	83%	17%		写真の取り扱いなど、周知が必要と感じる場面がある。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	16%	17%	67%	コロナ禍で難しい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	17%	83%		・防犯マニュアルは知らない。 ・意識に差があると思う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	50%	34%	16%	・繰り返し研修や話をしているが、意識に大きな差がある。 ・施設内研修を行いたい。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	67%	33%		わからない ⇒どのような場合に行うかについてはミーティングや研修でお伝えしてきた通りです。改めてご説明致します。必要に応じて承諾を得、計画書にも記載しています。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	67%	17%	16%	* 保護者に確認しています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%	17%		作成しても共有が不十分で、意識に大きな差がある。ミーティングなどを活用し、しっかりと行っていきたい。	